



上布田保育園

えんだより



令和4年8月31日

澄み切った空が高くきれいで、秋の訪れを感じます。ジメジメした暑さも和らぎ、外で体を動かすことが気持ちよい季節がやってきました。夏まつりを経験してひとまわり大きくなった子どもたちが繰り広げる秋の保育は、まさに実りを感じられる瞬間が満載です！どんな育ちの場面に出会えるのか、想像するだけでワクワクします♪ まだまだコロナ禍から抜け出せない状況ではありますが、子どもたちからたくさんパワーをもらって、秋を満喫したいですね。

さて、上布田保育園の保育では、今年度に入り「振り返り」(子どもたちのミーティング)を取り入れています。夏まつりの時には、さくら組のその振り返りが大活躍！「お店にお客さんが来るにはどうしたらいいんだろう」「小さい子にはどう対応したらいい?」「品物が足りなくなりそう」「売れ残りそうなんだけど、どうやったら売れるかな」…そんな友だちの声に、みんなと一緒に考え、策を練り、次の日の準備をする。アイデアを出し合い、困ったときには助け合い、「これすごいよね」などお互いを認め合い、充実感を共有し、時にはうまくいかなかった「そんなこともあるよね～」と笑い合い…充実した3日間を過ごせたのも、この振り返りがあったからこそ！小さな子ども集団が PDCA サイクルを生かす姿に感動し、おとなも頑張らねば！と刺激を受けました。秋には「かみふだうんどうかい」「たて割り散歩」など、楽しい行事が続きます。経験を積み重ねてきている子どもたちは、きっと更なる進化を遂げて、秋の遊びを満喫していくのでしょう。これからも保護者の皆さんと子どもたちの育ちの共有をしていくために、こまめに発信していこうと思います。ぜひ一緒にお楽しみください。

園長 小林 三季

9月1日は防災の日です！

防災の日を迎えるにあたり、おとなも子どもも「もしも…」に備えて、一緒に考えてみよう！と、企画しました→保育園での防災対策やおうちでの防災対策を紹介しあい、「もしも…」に備えて意識を高めていけたらとの企画です。この機会にご家族で「我が家の防災対策」について話してみたり、子どもの目線に下がってお子さんと一緒に考えてみたりするのはいかがでしょうか。

保育園では毎月避難訓練を行っています。先日は子どもたちの前で、消防署より訓練用の消火器を借りて消火訓練を行いました。園でも子どもたちと一緒に、しっかりと備えていきたいと思っております！

ぼうさいのひ～もしものために～



階段下の壁に掲示してあります。ぜひ、皆さんご参加ください！

●今月の予定●

日	月	火	水	木	金	土
				1 防災の日 引き取り訓練	2	3
④	5	6 太鼓・ダンス	7	8 0・4・5歳児健診	9	10 布団丸洗い
⑪	12	13	14 お話カメさん	15 誕生会	16 敬老の日	17 さくら組の日
⑱	⑲	20 太鼓・ダンス	21	22	㉓	24
㉔	26	27	28	29	30 さくらお茶	

*さくら組の日は、延期となった「お泊まり保育」に変わるさくら組の行事です。

●お願い・お知らせ●

◎9月1日「防災の日」引き取り訓練について

配布した「引き取り訓練のお知らせ」をお読みいただき、引き取り訓練にご参加ください。第2避難場所の上布田公園、第3避難場所の調布八雲苑の場所や災害代理人について、この機会にご家族の皆さんで、再度一緒にご確認ください。

◎保育士体験の再開について

9月より、保育士体験を再開いたします。1階の連絡ボードにて空き状況を確認し、希望日を職員までお申し出ください。引き続き細やかな感染予防対策をとった上での再開となります。ご協力お願いいたします。

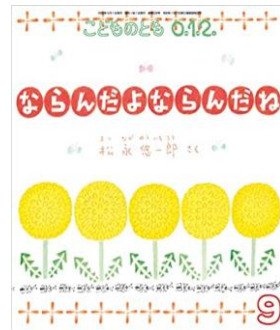
◎「かみふだうんどうかい」について

10月8日(土)、幼児クラス(ばら・ゆり・さくら)参加の「かみふだうんどうかい」が行われます。感染予防対策を施した上で、保護者の方々にも参観していただく予定です。詳細は後日配布するお知らせをご覧ください。

● 今月のおすすめ本 ●

乳児向け「ならんだよ ならんだね」

「どんぐり どんぐり ならんだよ」「きいろい おはなも ならんでる」「ありさん ならんで どこいくの?」。他にも貝がらや積み木など、いろいろなものがならんでいる様子を描きます。子どもたちはならんだものや、ならべることが大好きです。ならぶことでふくらむ愛らしさや、うれしい気持ちをどうぞ感じてください。



おとな向け「ママがいい！母子分離に拍車をかける保育政策のゆくえ」

0・1・2歳の子どもにとって、母親は「世界のすべて」ともいえる存在です。しかし、ここ数年の保育政策は、母子分離の時間を長時間化させ(標準が11時間)0歳児保育を勧めるような施策が進められています。「待機児童ゼロ」「エンゼルプラン」「子育て安心プラン」などの言葉の裏に保護者から親として育つ機会を奪い、保育がビジネス化されていく…今、方向転換したら日本はまだ間に合うかもしれないと希望をいだいて書かれた本です。



幼児向け「こんたのさかなつり」

こんたは、くまおじさんと、つりをするやくそくをしています。おとうとのこんきちといっしょに、川へむかっていると、こんきちのむぎわらぼうしが、風にとばされてしまいました。ぼうしをみつけたのは、暗い森のなか。はやくもどろうと思ったところに、「バッシューン！」という水の音が。きっと大きい魚がいるから、ここでつりしよう、とこんきちにいわれ、こんたもその気になりました。ふたりが糸をたれていると、かかったのは、木の枝…。次につれたのは…!? 『こんたのおつかい』で、おばけと次々に遭遇したこんたですが、こんたは何が起こるかな? ドキドキの絵本です。



読書の秋♪